

研究実施のお知らせ

研究課題名：肋骨弓下 TAP ブロックの穿刺部位による麻酔効果の比較
～ 筋移行部アプローチと第 10 肋軟骨下アプローチ ～
研究期間：倫理審査委員会承認後～2025 年 12 月 31 日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 29 年 5 月 30 日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2021 年 9 月～2025 年 12 月までに、当院にて全身麻酔と肋骨弓下ブロックで腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けた方

【研究の目的と意義】

当院では腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けられる患者様に対し、全身麻酔に合わせて、術後の痛みを軽減させるための腹部のブロック注射を行っております。現在行われている肋骨弓下 TAP ブロックという腹部のブロックはブロック針を穿刺できる範囲が広いとため、ブロック施行者によって穿刺する場所がしばしば異なります。当院では腹部の中心に近いところ、または脇腹に近いところの二箇所の穿刺部位のいずれかからブロックを行っております。しかし、各穿刺部位からのブロック間に麻酔効果の差があるかは、明らかになっていません。そこで、当院ではそれぞれの穿刺部位からのブロックを併用し手術を受けられた方の詳しい情報を調べさせていただき、麻酔効果にどのような差があるかを調べさせていただきたいと思っております。

【研究の方法】

患者様の診療録等の診療情報を用いて、集計、単純な統計処理等を行う後ろ向き研究です。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報及びブロックの効果に関する記録（年齢、性別、身長、体重、手術時間、術中の薬剤使用量、ブロック施行から術後評価までの時間、ピンブリックテストによるブロックの効果範囲、痛みの評価、初回鎮痛薬要求までの時間、24 時間での鎮痛薬使用回数、ブロック施行者、効果の評価者など）を研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

研究責任者：仙台市立病院 麻酔科 医長 亀山良亘
共同研究者：仙台市立病院 麻酔科 部長 安藤幸吉

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が学会発表・論文などで公表さ

れていた場合などは、完全に廃棄できません。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 麻酔科

研究責任者 亀山良亘

麻酔科部長 安藤幸吉

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）